

Ver. 2006:



www.opengis.co.jp



この説明書は、**TNTmips** フローティングライ センスのサーバ設定と、クライアント設定につ いてのテクニカル・ガイドです。御不明な点に つきましては、同梱の英文リリース・ノート、 あるいは弊社**(TEL: 03-3623-2851)**までお 問い合わせ下さい。



作業はサーバ側とクライアント側でそれぞれ行います。 また、Windows か、それ以外の OS かでも作業が異なります。 サーバとクライアントは、必ずしも OS を統一する必要はありませんので、 サーバーが Windows、クライアントは MacOSX のように自由に組み合 わせてください。

これから行う作業は次の4つです。

①サーバ側のインストール → ②サーバ側の設定

③クライアント側のインストール → ④クライアント側の設定



さあ、次のページへすすみましょう...



TNTmipsのフローティング・ライセンスを管理するソフト『LMTOOLS』をサーバマ シン (Windows2000, XP, 2003) ヘインストールする作業をご紹介します。MacOSX や Linux/UNIX をライセンス管理サーバにする場合は、14 ページのインストール作業をご 覧ください。

a. キーの挿し込み!



ライセンスキー(ドングル)をサーバに挿し込んで下さい。通常は、写真のような USB タイプの HASP キーになります。そして、ライセンスキーを挿し込むと立ち上がる「新しいハードウェアの検索ウィザード」を実行してください。 もしもこのウィザードが2回立ち上がった場合、2回目はキャンセルしてください。

CD-ROMのセット

インストール**CD-ROM**をマシンにセットします。自動的に下のようなインストーラが起動 しますが、もし起動しない場合は、**CD-ROM**ドライブのアイコンをダブルクリックして、 インストールを実行してください。



CFloating License Manager (FlexLM)のインストール



▼インストーラのタイトルが現れましたら、 [Install...] ボタンを押します。

▼< Select Item to Install >ウィンドウが 現れましたら、さらに「Floating License Manager (FlexLM)」を選択して [OK] ボ タンをクリックします。

▼ "Welcome..." ウィンドウが現れます ので、[Next] ボタンをクリックします。





▼ "License Agreement"では、左下の
 「I Accept the…」にチェックボックスをオンにし、[Next] ボタンをクリックします。





for Windows 🍂

インストールしたライセンス管理ソフトの設定を行い、ライセンス管理プロセスを開始 します。



▼「スタート」>「すべてのプログラム」>「MicroImages」>「License Manager Configuration」を実行します。

すべてのプログラム(P) 👂		🖬 MicroImages				MI	III License Manager Configuration	
		🖉 בללם 🖉	0	%了オプション(U)				
א-פג 🕌	😽 Capture	It! PRO	W	無題 - ペイント				



▼<**Error**>ウィンドウが現れますが、[**Configure**] ボタンをクリックしてください。

TNT Product License Configuration 🔀				
Select product license option				
C Free TNTlite license				
Sentinel license key on USB or parallel port:				
HASP license key on USB or parallel port:				
C Serial license key on port: CDM1 💌				
Floating license from FLEXIm server:				
Server name: TSUKUMO				
Apply feature option codes				
Cancel Help				

▼ライセンスを「HASP」に切り替えて[OK]を押しましょう。もし、ドライバがインストールされていない場合は自動的にドライバのインストーラが起動しますので、別刷りの 【インストールガイド for Windows】をお読みください。



▼あとは、[Browse] ボタンをクリックし、対応するプログラムやファイルの指定を 行います。次に、"Use Service"と "Start Server at Power Up"チェックを 入れて [Save Service] ボタンを押します。

LMTOOLS by Globetrotte	r Software http://www.globetrotter.com	ファイルを開く
File Edit Mode Help		ファイルの場所型: 🗁 LicenseMgr
Service/License File System Se	ttings Utilities Start/Stop/Reread Server Status Server Diags Config Services Borrowing	Market
Configure Service Service Name	Flexim Service 1	最近使ったファイル ぼう デスクトップ デスクトップ 「この」 デスクトップ
Path to the Imgrd.exe file Path to the license file	C:\Program Files\MicroImages\LicenseMg/\Imp C:\Program Files\MicroImages\LicenseMg/\Imp Browse	
Path to the debug log file	pgram Files\MicroImages\LicenseMg\Debug.log Browse View Log Close Log	ファイルを開く
₩ Start Serve	er at Power Up	ファイルの場所の: 定 最近使ったファイル デスクトップ



LMTOOLS by Globetrotter Software http://www.globetrotter.com	×
Would you like to save the settings for the service: FlexIm Service 1 ?	
【はいなの】 いいえの キャンセル	

▼ "Would you like to save..." というメ ッセージが現れますので、[はい (Y)] をクリ ックして、設定を保存します。

C 管理プロセスの開始

LMTOOLS by Globetrotter Software http://www.globetrotter.com	
File Edit Mode Help	
Service/License File System Settings Utilitie: Start/Stop/Reread Server Status Server Diags Config Services Bo	
Flexim license Services installed on this computer	▼『LMTOOLS』 の [Start/
Flexim Service 1	Stop/Reread]タブパネルへ
	移動します。
Start Server ReRead License File	▼ [Start Server] ボタンを押
Advanced settings >>	りと、ライセンス管理ノロセス が開始されます。
Server Start Successful.	



▼最後に、『LMTOOLS』のメニューより[File] > [Exit] で『LMTOOLS』 を終了します。

以上で、サーバー側の設定は終了です。続いて、クライア ント側の設定を行いましょう。



for Windows 🍂

実際に TNTmips を起動するクライアント側の設定を行います。まずは、インストール CD-ROM をセットして、シングルライセンスと同様に TNTmips をインストールしま す (Windows98,Me,2000, XP, 2003)。 クライアントとして、MacOSX マシンを使用 される場合は、17 ページのインストール作業をご覧ください。

a. CD-ROMのセット

▼インストール CD-ROM をセットして、クライアント側に、シングルライセンスと同様 TNTmips をインストールします。

り別刷インストールガイドを読む

▼詳しいインストール方法は、別刷りの【インストールガイド for Windows】をご覧くだ さい。



for Windows 🍂

TNTmips がインストールできましたら、ライセンス設定 (License Configuration) ウィンドウを表示して、ライセンスサーバの情報を入力します。フローティング・ライセンスに切り替えたあとは、**TNTmips** をいつものように起動してください。もしうまくいかないようでしたら、弊社 (info@opengis.co.jp) までお気軽にお問い合わせください。

る License Configurationの起動

▼「スタート」>「すべてのプログラム」>「MicroImages」>「TNT Products2006-72」>「License Configuration」を実行します。



b License Configuration の設定変更



▼ License Option を「Floating license from FLEXIm server:」に切り替えて、ライセンスサーバーの IP アドレスを入力します。

▼入力できましたら、[OK] ボタンをクリックしましょう。

この操作ででエラーがでた場合、11ページをお読みください。

C. TNTmips の起動

▼「スタート」>「すべてのプログラム」>「MicroImages」>「TNT Products 2006-72」を選択し、TNTmips を実行します。これで、フローティングライセンスとして TNTmips が起動します。



Windows マシンをライセンスサーバに使用した場合、< License Configuration > ウィンドウで次のようなエラーが出る場合があります。このエラーは、サーバ側のファイアウォールが原因かもしれません。

	TNT Product License Configuration 🗙				
エラー					
8	FlexLM error occurred. Cannot connect to license server The server (Imgr0 has not been started yet, or the wrong port@host or license file is being used, or the port or hostname in the license file has been changed. Feature: ServerNum Server name: 1921681.34 License patr: CXProgram Files¥MicroImages¥TNT67;CXProgram Files¥MicroImages – ¥TNT,72¥tntprod.lic FLEXIm error: ~15,570. System Error: 10035 "WinSock: Operation would block" For further information, refer to the FLEXIm End User Manual, available at "www.macrovision.com". Error code = ~1172 TNT Version: 2006;72				
	Floating license from FLEXIm server: Server name: 192.168.1.34				
	Apply feature option codes				
	DK Cancel Help				

マイクロイメージ社の報告によると、マイクロソフトが 2006 年 5 月にリリースした パッチによって Windows のファイアウォールの挙動が変わり、クライアント側からの FlexLM のライセンス要求の信号がファイアウォールによってブロックされることがあ るようです。

対処法

a: スタートからコントロールパネルを開き、「セキュリティセンター」をダブルクリックします。



b: < Windows セキュリティセンター>ウィンドウが開きます。一番下の [Windows フ ァイアウォール] をクリックします。

🖲 Windows セキュリティ センター	
	セキュリティ センター コンピュータを保護するため コンピュータを保護するため コンピュータを保護するため ロ
ペルプ ※ ・ Microsoft から最新のセキュリティ 情報的よびウイルス操作を入手す る。	セキュリティの重要に有日 ビキュリティセンキでは、Window。のセキュリティ語であ手根できます。ユンビューが知道離するため、これ のたキュリティの重要期目が時期になっていることを確認してでただ、試容が時期になっていない場合は、 推奨されるが環境に応っていたじ、などでセキュリティビンティレスを見ます。 Windows がどのよりにコンピュータを接触するがについての最新情報を表示します。
 Windows Update からの最新の更 新を確認する 	😂 ファイアウォール 有効 🕞
 セキュリティ関連の問題でサポート を得る 	● 自動更新 有効 ⑧
・セキュリティ センターのヘルプを表示 する	● ジャイルス対策 監視していません ≪
 セキュリティセンターからの警告の 方法を変更する 	ユーザーが自分で管理するウイルス対策ソフトウェアを使用していることが指定されました。ウイルスやその他のセキュリティの準認からユンピューを保護するのに役立てるため、ウイルス対策ソフトウェアが有効になっていて、最新の状態であることを確認してくだい。 ウイルス対策ソフトウェアに含むことで確認してくだい。 ウイルス対策ソフトウェアに含むことで、一般の単純の重新を表示します。
	推奨される対策実(症)
	セキュリティの設定の管理
	🕖 インターネット オプション 🛛 🐴 自動更新
	😂 Windows ファイアウォール
Microsoft はお客样のプライバシーを守ります。	プライバシュー(二明マス声明をお決みくだない。

c: < **Windows** ファイアウォール>ウィンドウが表示されます。[例外] タブパネルへ移動 し、[プログラムの追加 **(R)**…] ボタンを押します。

😻 Windows ファイアウォール
全般 例外 詳細設定
Windows ファイアウォールが無効になっているため、コンピューダは、インターネットなどの外部からの 攻撃や侵入の危険にさらされています。「全般」 タブをクリックして、「有効」 を選択することを推奨し ます。
プログラムおよびサービス(2):
名前
□ UPnP フレームワーク ☑ ファイルとプリンタの共有 ☑ リモート アシスタシス □ リモート デスクトップ
プログラムの追加(密) ボートの追加(Q) 編集(E) 削除(D)
例外を許可することの危険の詳細を表示します。
<u> </u>

d: [参照] ボタンを使って、**C:**/Program Files/LicenseMgr フォルダにある Imdmcrimgs.exe ファイルを選択します。

🖆 License Mgr			
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気にフ	い(A) ツール(T) ヘルプ(H)		
🔇 戻る 🔹 🛞 🕘 🏂 🔎 検索	խ 7สมเรี 🎹•		
アドレス(D) 🛅 C¥Program Files¥MicroIma	ges¥LicenseMgr		
	名前 🔺	サイズ	種類
ファイルとフォルダのタスク 🙁	🛅 Settings		ファイル フォルダ
👘 このファイルの名前を変更する	🖬 Debug	3 KB	ファイル
	🔊 haspds_windows.dll	1,811 KB	アプリケーション拡張
CU1771742121090	- hinstall.exe	2,127 KB	アプリケーション
このファイルをコピーする	installs.exe	76 KB	アプリケーション
🐼 このファイルを Web に公開する	A KEYSETUP.EXE	4,022 KB	アプリケーション
👩 このファイルを電子メールで送信	M Imconfig.exe	1,416 KB	アプリケーション
- J 2	Imdmcrimgs.exe	1,068 KB	アプリケーション
🗙 このファイルを削除する	Imgrd.exe	796 KB	アプリケーション
Contraction of the local data and the local data an	imtools.exe	892 KB	アプリケーション
7.07	🔊 msvcp71.dll	488 KB	アブリケーション拡張
tone 📀	🔊 msvcr71.dll	340 KB	アプリケーション拡張
	nadcon.ref	144 KB	REF ファイル
業編 (参)	🖬 textres.enu	2,435 KB	ENU ファイル
	Intprod.lic	1 KB	LIC ファイル
Inducrings.exe アプリケーション	DPDINFO.UNX	4 KB	UNX ファイル

選択後の< Windows ファイアウォール>ウィンドウです。Imdmcrimgs.exe が例外処理 のプログラムおよびサービスとして追加されました。

😺 Windows ファイアウォール
全般例外詳細設定
Windows ファイアウォールが無効になっているため、コンピューダは、インターネットなどの外部からの 攻撃や侵入の危険にざらされています。「全般」 タブをクリックして、 [有効] を選択することを推奨し ます。
プログラムおよびサービス(型):
名前
☑ Imdmcrimgs.exe □ UPnP フレームワーク
 ☑ ファイルとプリンタの共有 ☑ リモート アシスタンス □ リモート デスカトップ
[フログラムの追加(R) ポートの追加(Q) 編集(E) 削除(D)
✓ Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時にご通知を表示する(№)
例外を許可することの危険の詳細を表示します。
OK キャンセル

e: 同様に、C:/Program Files/LicenseMgr フォルダにある Imgrd.exe ファイルを選択 します。選択後の< Windows ファイアウォール>ウィンドウです。[OK] ボタンを押し て、< Windows ファイアウォール>ウィンドウを閉じます。

📴 Windows ファイアウォール	×
全般例外詳細設定	
Windows ファイアウォールが無効になっているため、コンピュータは、インターネットなどの外部からの 攻撃や侵入の危険にざらされています。「全般」 タブをクリックして、 [有効] を灌択することを推奨し ます。	
プログラムおよびサービス(<u>P</u>):	
名前	
UPnP フレームワーク	
☑ ファイルとプリンタの共有	
☑ リモート アシスタンス ロリモート デフカトップ	
プログラムの追加(Q) ポートの追加(Q) 編集(E) 肖耶念(D)	
✔ Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時(に通知を表示する(N)	
例外を許可することの危険の詳細を表示します。	
<u></u> OK キャンセル	

以上で、ファイアウォールの設定変更が完了しました。マイクロソフト以外のセキュリティ ソフトをご使用で、フローティングライセンスが起動できない場合は、そちらの方のファイ アウォールがエラーの原因と考えられます。その場合は、そのソフトに応じた例外設定をす ることによりエラーしてください。



TNTmips のフローティング・ライセンスを管理するためのソフト『Imgrd』をサーバ マシン (MacOSX,Linux,UNIX に対応) にインストールする作業をご紹介します。 Windows マシンをライセンス管理サーバにしたい方は、2ページのインストール作業 をご覧ください。

a キーの挿し込み!



▼ライセンスキー(ドングル)をサーバに挿し込んで下さい。通常は、 、写真のようなUSBタイプのHASPキーになります。

D DVD のセット

▼インストール DVD をマシンにセットします。自動的にデスクトップ上にマウン トされますので、アイコンをダブルクリックして中身を開き、FLEXIm License Server フォルダを開きましょう。

C.ファイルのコピー



errmsgs.txt

example of a th

lic

▼自分のホームディレクトリに、インストール用 フォルダを作成します。名前は、「tntflexserver」 としてください。

▼あとは、作成しました tntflexserver フォル ダの中へ、FLEXIm License Server 内のすべ てのファイルをコピーしてください。これで、管 理ソフトのインストールは完了です。



for MacOSX 🗯

インストールしました『**Imgrd**』の設定を行い、ライセンス管理プロセスを開始します。この作業が終わりますと、サーバ側での設定は終了です。あとは、クライアント側の設定を行うのみです。

a キーの認識

▼もし、HASP キーが認識されていない場合は、別刷りの【TNTmips インストールガイ ド for Mac OS X】をお読みいただき、HASP ドライバをインストールしてください。





▼「Macintosh HD」>「アプリケーショ ン」>「ユーティリティ」フォルダ内の「タ ーミナル」を実行します。



▼次のコマンドを入力すると、管理プロセスが開始されます。 cd [return] cd tntflexserver [return] ./chkupd -remote [return] ./Imgrd -c tntprod.lic -I tntflexlog.txt [return]





実際に TNTmips を起動するクライアント側の設定を行います。まずは、インストール DVD をセットして、シングルライセンスと同様に TNTmips をインストールします。 ク ライアントとして、Windows マシンを使用される場合は、9 ページのインストール作業を ご覧ください。

a. DVD のセット

▼インストール DVD をセットして、クライアント側にシングルライセンスと同様 TNTmips をインストールします。

り別刷インストールガイドを読む

▼詳しいインストール方法は、別刷りの【インストールガイド for MacOSX】を ご覧ください。



for MacOSX

TNTmips がインストールできましたら、ライセンス設定 (License Configuration) ウィンドウを表示して、ライセンスサーバの情報を入力します。フローティング・ライセンスに切り替えたあとは、**TNTmips** をいつものように起動してください。もしうまくいかないようでしたら、弊社 (info@opengis.co.jp) までお気軽にお問い合わせください。

a License Configuration の起動



▼「Macintosh HD」>「アプリケーション」 >「TNTproduct 2006-72」>「Change License Configuration」を実行します。

し License Configuration の設定変更



▼「FlexLM Floating License」に切り替え、 ライセンスサーバーの IP アドレスを入力します。

▼入力できましたら、[**OK**] ボタンをクリックし ましょう。

C. TNTmips の起動



▼「Macintosh HD」>「アプリケーション」 >「TNTproducts 2006-72」>「TNTmips」 を実行します。これで TNTmips がフローティ ングライセンスとして起動します。

-17-

FAQ よくある質問

インストールする必要はあるの?

ありません。TNTmips の起動前にスタートメニューから「すべてのプログラム」>「 MicroImages」>「TNTproducts 2007-72」>「Lisence Configuration 」を選択し て、「Free TNTlite License」に切り替え、[OK] ボタンを押すことで、mips から lite へ変更されます。mips へ戻す場合も同様です。

ライセンスサーバが動かない!!

クライアント側で "No socket connection to license server manager." というエラー メッセージが現れることがあります。

まず、ライセンスサーバとして使っているコンピュータがネットワークに接続できているか、 IP アドレスが変わっていないかの2点を確認してください。

問題がなければ、ライセンスサーバーがダウンしてしまったのかもしれません。ライセンス サーバーを再起動してください。

また、次のようなメッセージが出る場合もあるようです。

"Floating license server is not authorized for version OO"

サーバを停止してから、**C:\Program Files\MicroImages\LicenseMgr** フォルダにある **"tntprod.lic**"ファイルを開き、書かれている内容を全て削除し、保存します。保存しまし たらライセンスサーバを再起動してください。

それでも動かない場合は、ライセンスサーバをクリーンインストールしてください。



最新情報は

www.opengis.co.jp

にて 随時提供しております 株式会社オープン GIS 〒 130-0001 東京都墨田区吾妻橋 1-19-14



TEL (03)3623-2851 FAX (03)3623-3025 URL http://www.opengis.co.jp/ E-mail info@opengis.co.jp